

令和4年度 政治・経済シラバス（公民）

学番56 新潟県立八海高等学校

教科(科目)	公民（政治・経済）	単位数	2	学年（コース）	3 学年
使用教科書	実教出版『最新政治・経済 新訂版』				
副教材等	実教出版『最新政治・経済 新訂版 演習ノート』				

1 学習目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 指導の重点

良識ある公民として必要な能力と態度を育てるため、以下のことに重点を置く。
 ①基本的人権を獲得してきた歴史的背景と、それを保障する民主政治、政治制度について理解する。
 ②日本国憲法における基本的人権の保障と、その実現のための課題について考える。
 ③新聞等の情報を活用し、さまざまな諸課題について考察を深め、自己の意見を的確に述べることができる。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	第1編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治	教科書 ノート 資料集 プリント	・人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 ・大統領制や議院内閣制など代表的な政治制度について理解を深める。	6	定期考査 課題等の提出 授業への取組
5	第2章 日本国憲法と基本的人権		・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障について理解を深める。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察する。	12	
6					
7	第3章 日本の政治制度と政治参加		・日本の行政、立法について理解を深める。 ・司法制度を理解し、法や規範の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。 ・政治参加の重要性と民主社会において、自ら生きる倫理について自覚を深めさせ、主権者としての意識を身に付ける。	8	
8	第4章 現代の国際政治		・国際法の意義について理解する。 ・国際連合の目的、平和と安全を維持する組織構成や取り組みを理解する。 ・第二次世界大戦以降の国際政治体制を理解するとともに、国際的な人権保障の現状を理解し、人権問題の解決について考察する。 ・核軍拡競争の背景と核軍備管理と軍縮実現の方法を考察する。	6	
9			第5章 日本の平和主義と国際平和	・日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。	
10	第2編 現代の経済 第1章 現代の経済社会		・経済の主体と経済活動の意義、現代の経済社会の変容について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解し、市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。 ・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 ・金融、政府の役割と財政、租税について理解を深め、日本の経済政策の方向性を考察する。	8	
11	第2章 現代の日本経済と福祉の向上		・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の中小企業や農業の現状を理解し、その課題を考察する。 ・消費者の立場や権利を確認し、消費者保護について考察する。 ・公害の発生原因と対策を通して、環境への取り組みや循環型社会について考察する。 ・日本の雇用、労働、社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。	8	
12					
1	第3章 現代の国際経済		・貿易に関する基本的立場の違いを確認し、国際収支表、外国為替市場を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際経済を概観し、理解する。 ・地域経済統合の目的やグローバル化する世界経済の現状を理解し、国際経済に与える影響や課題を考察する。 ・国際社会における貧困や格差について理解するとともに、先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。	6	
2	第3編 現代社会の諸課題		・地域社会の現状と課題を理解し、これからの地域社会のあり方について考察する。 ・地球環境問題の現状と要因、影響のほか、環境保全に対する国際社会の取り組みについても理解する。	5	
3					

計64時間（55分授業）

4 課題・提出物等

①ニュース記事について意見をまとめたレポートを提出する。
 ②日本国憲法全文を読み、課題プリントをとおして、憲法が保障する基本的人権の内容を把握する。

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
授業に積極的に参加し、国際社会や歴史的事象に対する関心と問題意識を高め、国家・社会の一員としての自覚を深めることができる。	現代社会の諸事象から課題を見出す姿勢を維持し、社会の変化や諸課題の克服などについて多角的、多面的に考察し、的確な判断をし、表現できる。	新聞、テレビなど様々な情報に適切に対処し、主体的に選択・活用し、それらの過程や考察した結果を的確に表現できる。	現代の社会的事象について基本的事柄を理解し、知識を深めている。

以上の観点から、定期考査、課題等の提出状況、授業への取組等をもとに、総合的に評価する。

6 担当者から一言

政治経済の授業内容は我々が現在生活している社会のしくみそのものであり、これを十分に理解することによって、現代社会の一員としてよりよく生きるためのヒントにすることができます。具体的にはニュースなどに触れて、それらの問題に対して自らの考え方を確立できるようにしましょう。